

2013年(平成25年)2月23日(土曜日)

松阪紀勢 20

多気町と非常食推進機構

災害時の協定結ぶ

多気町は二千二百、(四日市市)と災害時
日本非常食推進機構の物資調達に関する協



日本非常食推進機構の古谷代表理事事務から非常食などが入った白い小箱を受け取る久保町長。多気町役場で

定を結んだ。

機構は「白い小箱運動」と銘打ち、非常食や防寒具などを詰め合わせた小箱を家庭に備える取り組みをしている。締結内容では、町内外で災害が発生した時、両者間で小箱を融通し合うことを定めている。久保町長と機構の古谷賢治代表理

事が町役場で協定書にサインした。

機構は町に三百箱を提供、町は来月三日に町内で開く防災フォーラムの来場者に配り、防災意識を高めてもらう。古谷代表理事は「玄関などに置いてもらって備えてほしい」と話し、久保町長は「万一の場合には活用したい」と礼を述べた。機構はこれまでに県や県内十六市町と同様の協定を結んでいる。(水野健太)